



熨斗は、日本の伝統的な包装文化であり、相手への想いを込めて装飾するものである。しかしながら、従来の熨斗の形では装飾に手間がかかり、日常生活上のギフトで取り入れるにはハードルが高い。熨斗で包装する手間を軽減し、より手軽に使うことができる形(=ステッカー)にすることで、熨斗を使用するハードルを下げ、手軽なギフトにも使用することができると考えた。本制作は、こうした状況を踏まえ、伝統文化の保存に寄与することに加え、手軽な装飾方法の提案によりギフト行為を促進させ、感情を伝える媒体としての役割を果たすことを目的として取り組んだものである。

ビジュアルデザイン

UVインクジェット、上質紙 H10cm×W8cm 19点

令和6年度 筑波大学芸術専門学群 卒業研究・作品集より

このコーナーでは、筑波大学芸術系ならびに同大学の芸術専門学群を卒業された方々のご協力のもと、芸術作品を掲載しています。